

質 問	回 答
<p>(1) 委員長の選出について (事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長を後藤委員にお願いしてよいか。 ・今後の慣例として、事務担当大学から出ている委員が委員長を務めるということによいか。 <p>入札監視委員会についての説明 (事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この委員会の開催は1年に1回開催ということか。 ・その他、必要になったときはその都度開催するということか。 ・要項の第4条「委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。」については、次期当番校の委員が努めるということでもいいか。 <p>(2) 京滋地区4国立大学法人において発注した建設工事について</p> <p>(3) 京滋地区4国立大学法人において発注した設計・コンサルティング業務について</p>	<ul style="list-style-type: none"> (委員一同承諾) (委員一同承諾) ・定例会議は年1回、第3四半期に開催する。 ・そうである。 (委員一同承諾)

質 問	回 答
<p>(4) 審議対象工事及び設計・コンサルティング業務の抽出結果について</p> <p>(事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考3のマニュアルにある審議対象案件を全部リストアップしたものがこの資料2と資料3の一覧表ということか。 ・このリストアップされた案件の中からいくつかを抽出するということか。 ・理由書を作成しなくてはいけない案件とはどのようなものか。 ・点検事項に該当したらすべて理由書を作らないといけないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そうである。 ・そうである。 ・理由書の右上の「点検事項」の①～⑦に該当する事業が理由書が必要になる案件となる。例えば滋賀大学の場合、中島グランド走り幅跳び助走路改修工事であれば点検事項番号⑤とあり、「随意契約のうち少額及び不落随契でない事業」に該当しているということになる。 ・そうである。

質 問	回 答
<p>(5) 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議</p> <p>資料 5-1 滋賀大学:附属図書館 2 階閲覧室等改修工事<一般 (単体)・建築一式></p> <p>(当該大学より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定価格とは大学が積算するものであり、入札価格とは業者が積算するものか。 ・ 予定価格の積算は大学が基準を作っているのか。何かガイドラインはあるのか。 ・ それは国が決めているのか。 ・ すべての国立大学法人は工事を発注する際、そのガイドラインにしたがって積算するということか。 ・ 同じような工事であれば、予定価格も似た金額になるということか。 ・ 各業者の入札金額が、このように大きくひらくことは通常あるのか。 ・ よって審議対象案件として審議する必要があるのか。 ・ この案件の理由書にある「点検事項番号③ 落札率が 50%以下の事業」ということは、建具改修が主な工事内容なので、建具の資材価格が予定価格の半分以下ということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ そうである。 ・ ガイドラインはある。 物価、資料及び各社から徴収した見積金額を査定する。歩掛りは公共建築工事積算基準で決まっており、それを採用している。 ・ そうである。 ・ そうである。 ・ 概ねそうである。ただし、地域により金額は若干変わる。 ・ 稀である。 ・ そうである。 ・ 大学が積算した価格のほぼ半分ぐらいである。

別紙

質 問	回 答
<p>・建具は市販品として、市販品の物価、資料で計算されているのか。</p> <p>・積算の段階でどこかから見積を取っているということか。</p> <p>・その見積に査定率をかけて積算しているということだが、さらにその半分の金額で業者は仕入をしていることになるが、工事は問題なかったか。</p> <p>・建具メーカーは業者に対して、相当値引きした額を見積っているということか。</p> <p>・三光(株)は過去に大学との工事实績はあるのか。</p> <p>・過去の入札の状況はどうか。今回と同じような傾向があるのか。それとも今回は特別なのか。</p> <p>・今回、特に業者が入札価格を下げたということか。</p> <p>・入札価格が極端に低いと、将来的な落札の影響が心配ではないか。</p>	<p>・建具については、建具のメーカーから見積を徴収し、それに査定率をかけて積算している。</p> <p>・そうである。</p> <p>・特に問題なく、工事は滞りなく終わった。</p> <p>・そのようである。</p> <p>・当該学と実績がある。</p> <p>・過去にはここまで金額がひらいたことはなかった。</p> <p>・そのようである。 予定価格の積算では、大学としては年間一定の査定率を採用しているので、推測だが、時期による需要と供給の関係で、入札価格が安くなったと思われる。</p> <p>・この工事は1千万円以下の工事だったので低入札価格の調査は行わなかったが、業者には落札した時点で確認をし契約している。 また、1千万円を超えた場合は、低入札価格の調査を行っている。</p>

別紙

質 問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 査定率について見直しが必要ではないか。実勢にそぐわなければその積算は意味ないのではないか。 ・ それは毎年改訂するのか。 ・ 落札業者になぜ今回安かったかヒアリングしたか。 ・ 低入札業者については、今後慎重に調査をするべきだと思われる。 ・ この工事の予定価格は非公表か。 ・ 応札業者の中で、見積を取った業者はどこか。 ・ 応札業者は滋賀県の業者だけか。 ・ 最低制限価格はあるか。 ・ また、1社だけ小出建設(株)の入札価格が高いが、それらも含めて、業者にヒアリングしたほうが審議しやすいと思われる。 ・ 競争参加資格委員会は、規程で持ち回り審議となっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 査定率に関しては、近畿地区で代表校が作成し、各大学の責任において査定率をそのまま使用するか、若干下げるのか上げるかし採用している。 ・ そうである。 ・ していない。 ・ 入札後、公表している。 ・ 見積を取ったのは業者ではなくて建具メーカーである。工事業者からは見積を取っていない。 ・ 近畿地区・中部地区に広く募集していたが、県外業者は参加しなかった。 ・ ない。 ・ 規定で決まっている。

質 問	回 答
<p>(5) 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議</p> <p>資料5-2 滋賀医科大学：附属病院ハイブリット手術室改修設計業務<標準型プロポーザル・建築・設備設計></p> <p>(当該大学より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザル方式について説明してください。 ・設計コンサルタント業務では、通常採用する方式であるのか。 ・標準プロポーザル方式を採用した理由について、設計に求める技術力や病院運営における配慮であると考えていいか。 ・二者を選定した理由を説明して欲しい。また、他者ではできない業務か。 ・二者の選定は、過去に実績のある者を優先しているが、新たな者の参入を考慮する必要はないか。 ・選定は委員会で実施しているが、その評価の内容を説明してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料により、今回採用した方式について説明した。 ・資料により、プロポーザル方式の中で、標準プロポーザル方式を採用したことを説明した。 ・資料に基づき、設計業務の内容を説明した。 ・資料により、選定理由を説明した。二者以外での業務達成が可能な者はあるが、業務内容や業務スケジュールから、大学が求める信頼のおける者を特定したことを説明した。 ・業務の専門性や病院診療に配慮などの設計内容に加え、公募で実施した直近の業務の参加状況を考慮して学内委員会で決定したことを説明した。 ・資料により説明した。

質 問	回 答
<p>(5) 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議</p> <p>資料5-3 京都教育大学：附属京都中学校玄関ロータリー整備工事<一般（単体）・土木一式></p> <p style="text-align: center;">（当該大学より説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この案件に、理由書がないのはなぜか。 ・なぜ本工事を選定したのか。 ・貴学では、これが一番の問題案件であったという理解でよいか。 ・その評価方式は、入札参加資格の有無のみを決めるものか。 ・入札参加業者は6者であるが、これは想定より多いか、少ないか。 ・評価点によって、金額が若干低い場合であっても、順位が逆転することになるが、この評価点は、大学が決められているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理由書提出に該当する案件ではなかったためである。 ・当該期間に行った建設工事の入札が、本件のみであったためである。 ・よい。低入札であったことと、今年度から文部科学省が採用している実績評価型を採用したことも付け加える。実績評価型とは、技術提案等の評価をせず、施工実績や、工事成績等、書類のみで審査できる方式である。 ・入札価格にも影響するものである。 ・通常はこの程度であるが、近年は非常に厳しい状況にあり、まったく参加者がいない場合や、1、2者しかない場合も多いため、そのことを考慮すると比較的多いほうである。 ・年度のはじめに、競争参加資格等審査委員会で審議し、決定している。その年度の1年間は、その配点を使用することになる。

別紙

質 問	回 答
<p>・工事成績で差がついているが、どのような内容で差を付けているのか。</p> <p>・地域精通度はこの配点でよいか。</p> <p>・対象等級がDのところ、B, Cを入れたことが、結果的にはよかったと評価できる。地域精通度はやはり高く感じられるが、この配点を参加業者は知ることができるのか。</p>	<p>・過去2年間の工事成績の平均点が、85点以上であれば6点、80点以上が4点、75点以上が2点、75点未満は0点という配点である。本件においては、(株)光工業のみ、平均点が75点から80点のあいだの工事成績を提出したということである。</p> <p>・やや高めの設定ではあるが、近隣に拠点があると、トラブルの対応を早急に行うことができ、又、地元業者の育成の観点からも、この配点としている。昨年度は、これ以上に高かったが、今年度に下げている。</p> <p>・配点（総合評価基準）は、入札公告の際に示している。評価点の結果は、契約後に予定価格とともに公表している。</p>

質 問	回 答
<p>(5) 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議</p> <p>資料5-4 京都工芸繊維大学：(松ヶ崎) 総合研究棟改修（基盤科学系 旧3号館南側） （建築・設備）設計業務＜簡易公募型プロポーザル（拡大）・建築・設備設計＞</p> <p>（業務概要について、当該大学より説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザルに参加したのは1社だけか。 ・1社しか参加しなかったのは、時期の問題もあるのか。 ・規模が大きいのので、もっと参加者がくるイメージがあるが。 ・落札率が非常に高いのはなぜか。 ・前回の予定価格は今回と比べて高かったか。 ・事前に予定価格は公表しているのか。 ・前回発注した設計業務の予定価格は事後に公表したのか。 ・それにより徳岡設計は予定価格を推測しや 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を取りに来た業者は6社いたが、参加業者は1社だけであった。 ・公告時期が平成25年度補正予算の実施に向けた時期となり、設計業務を公告する機関が重なったからと思われる。 ・建築と設備を含めた一本発注であったため、それぞれの技術者を専任する必要があったことも影響していると思われる。 ・当該建物の北側半分を1年前耐震機能改修したが、その設計をした設計事務所が今回も落札している。設計価格的には、そのときの実績を踏まえて積算したからであると思われる。 ・今回と変わらない。同規模なので金額的にもほぼ同金額だった。 ・していない。 ・そうである。 ・そのように思われる。

別紙

質 問	回 答
<p>すい状況にあったということか。</p> <p>・ 公告期間は短くないか。</p> <p>— 以下余白 —</p>	<p>・ 所定の期間を確保しており、特段短いわけではない。</p>